

◎保健福祉部所管

問 若年出産世帯応援事業は今年度限りではないと思うが、例えば不妊治療をされる方が、今年度申請をしたが出産につながらなかった場合、来年度も申請できるのか。

答 一人6回までの補助となっている。今年度4回の不妊治療をされた場合、来年度2回の補助が可能である。

意見

若年出産世帯奨学金返還支援事業は、一世帯への支援の上限は40万円に決められている。

一方、ニュースなどでは一人当たり40万円以上の返済額があるとも聞く。

少子化対策の一環として、町独自で補助をすることを考えてはどうか。

また、見込み件数を超えた場合でも、申請が遅れたから支援が受けられないことがないようについてほしい。

◎教育委員会所管

問 ホッケー普及促進事業に関して、以前、安全性を考慮した道具を使ってホッケーを導入してはどうか。と提案したことがあるが、なぜこの時期になったのか。

答 小学校のホッケー体験等ではプラスチック製のスティックを使用して実施していた。

しかし、町民の皆さんを対象とする場合、プラスチック製といえども硬くて危険な場合もあると考え、発砲ウレタン製の柔らかいスティックとボールを利用することで、さらに安心してホッケーを普及したいと考えた。



生涯スポーツの環境設備を！

問 ウレタン製の道具を使用したホッケーは他の地域でも普及しているのか。

また、本町独自の特別ルールを設定するのか。

答 レクリエーション的な気軽に楽しんでもらえるホッケーとして普及している。

本町においては、通常より小さいフィールドでプレーを行い、誰でも楽しんでもらえるオリジナルのルールを考えている。

介護保険特別会計補正予算

問 予算編成時の職員数は15人であったが、2人増となった理由は。

答 1人は包括支援センター係の保健師、もう1人は保険課所管の介護認定の申請に対し認定調査を行う会計年度職員の調査員の増である。

問 保険課の旅費増額の理由は。

答 会計年度職員交代に伴う、通勤手当相当額の増額である。

水道事業会計補正予算

問 (仮称) 松前町配水池建設工事に関して、これまでの経緯と今後の進め方は。

答 令和3年度に工事の入札を行い、令和4年4月に工事請負契約を締結した。

その後、実施設計を進める中で、耐震工法指針の改訂に伴う設計条件や構造計算の見直し等に期間を要したが、令和5年7月頃には実施設計が完了する見込みである。

今後はスムーズに工事に着手し、早期完成に向けて取り組んでいきたい。

意見

事業費や工程は、以前に聞いた計画どおりに進んでいない。今後は計画的に進めること。



令和7年度末の完成に向けて (仮称) 松前町浄水場整備